

平成24年9月

京都市こどもの感染症

ポリオの予防接種が変わりました！

生ワクチン(口から飲むワクチン)から不活化ワクチン(注射)に変わりました



協力医療機関で接種できます

これまでの集団接種から、協力医療機関に事前予約いただく個別接種になりました

協力医療機関については、保健医療課のホームページでご確認ください

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000126753.html>)



年間を通じて接種できます

これまで春と秋とに限定して実施していましたが、今後はいつでも接種していただけるようになりました



接種回数が4回になりました

詳しくは「どうすればいいの？ポリオワクチン」でご確認ください

3種混合ワクチン(ジフテリア、百日せき、破傷風)に不活化ポリオワクチンを加えた
4種混合ワクチンが定期接種に導入されるのは、11月以降の予定です

内容に関するお問い合わせは…

○ お近くの保健センター

○ 京都市保健福祉局 保健医療課(電話 075-222-4421 / ファクシミリ 075-222-3416)

○ 京都市衛生環境研究所 管理課(電話 075-312-4942 / ファクシミリ 075-311-3232)

★ 衛生環境研究所のホームページからご覧いただけます ★



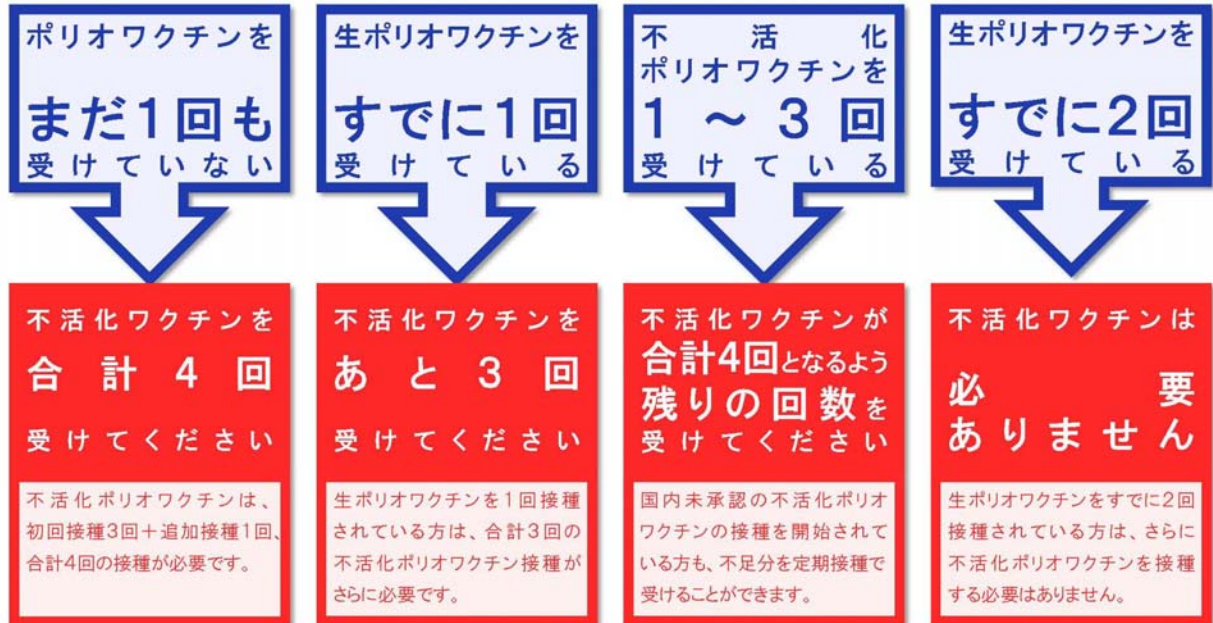
京都市印刷物 第242122号

平成24年9月 発行

京都市衛生環境研究所

どうすればいいの？ ポリオワクチン

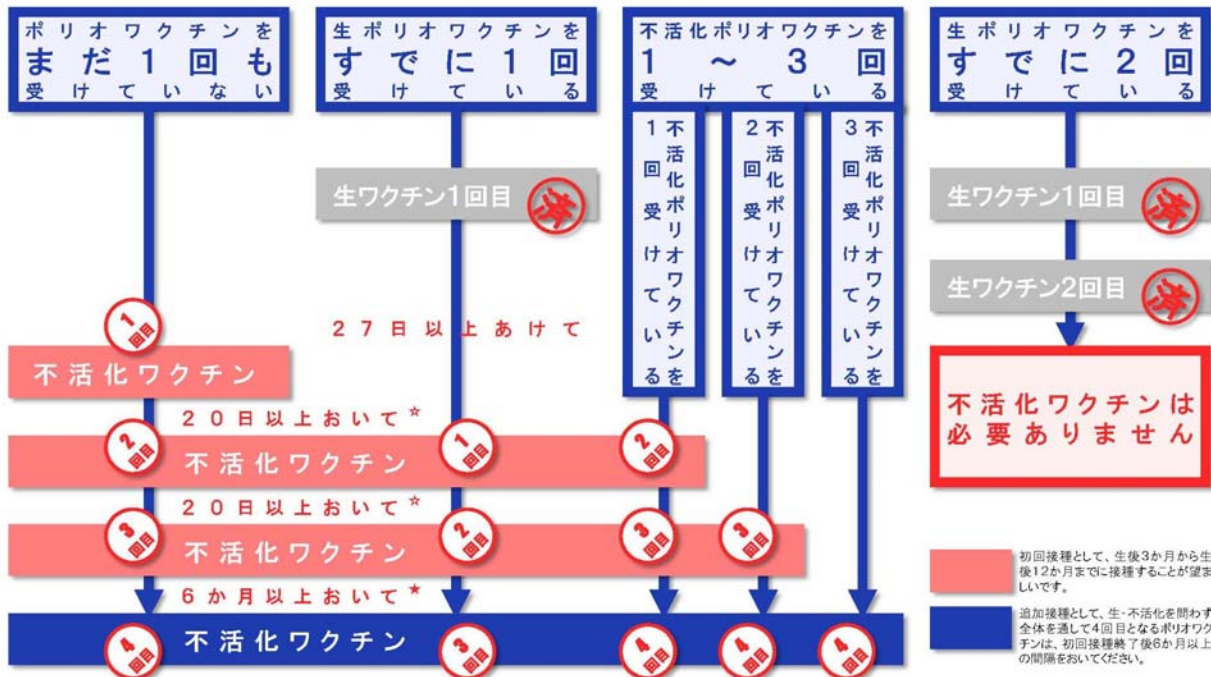
4種混合ワクチン導入(平成24年11月)までの接種方法



★使用する不活化ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチンです。
 ★不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。
 ★追加接種とは、生・不活化を問わず、全体を通して4回目となるポリオワクチンです。
 ★3種混合ワクチンは従来通り受けてください。
 ※平成24年9月1日の導入時点では、4回目の追加接種は定期接種対象外です(現在、国内臨床試験を実施中のため、データが整い次第導入予定)。

(C) 厚生労働省

4種混合ワクチン導入(平成24年11月)までの接種ステップ



☆20日以上おいて(20日から56日までの間隔をおくことが望ましいです) ☆6か月以上おいて(12か月から18か月の間隔をおくことが望ましいです)
 ※平成24年9月1日の導入時点では、4回目の追加接種は定期接種対象外です(現在、国内臨床試験を実施中のため、データが整い次第導入予定)。

(C) 厚生労働省